

統計思考院とは

人材育成・統計思考力育成事業の各プログラムの企画・実施の母体

統計数理研究所の目標のひとつに「統計思考力を備えたT型人材育成による融合研究の推進」があります。T型人材、すなわち専門分野の深い知識（縦棒）と統計学という分野横断型の広い知識（横棒）を備えた人材のことです。

統計思考院は、人材育成・統計思考力育成事業の各プログラムの企画・実施の母体として、大規模データを活用したモデリングや研究コーディネーションなど大規模データ時代に求められる統計思考ができる人材（T型人材、モデラー、研究コーディネータ）を共同研究の現場で育成します。また、大学教員のサバティカル支援事業や統計数理の成果の公開普及活動などを実施するとともに、複雑・不確実な現象の解明に挑戦します。

構成メンバー

院長（兼）／副院長（兼）
特命教授（共同研究スタートアップ担当、国際担当）
特任教員／特任研究員
客員研究員／外来研究員 等



統計数理研究所A606室
(広さ：約400 m²)

特任教員等のための
個別スペース： 8席
交流のためのオープンスペース： 18席
共同研究スタートアップ
コーナー： 1区（2席）
その他、事務・
研究補佐のためのスペース： 3席



「共同研究スタートアップ」プログラム

適切に問題を位置付けるアドバイスを行う場を提供します。

研究課題の解決にあたって、データ解析・統計分析でお悩みの研究者の方々で「抱えている問題が共同研究のレベルかどうかわからない」と迷っている方のために、適切に問題を位置付けるアドバイスを行う場として、『共同研究スタートアップ』プログラムを用意しています。本プログラムでは、課題を持ち込まれる方はアポイントを取った上で統計数理研究所までお越しいただき、統計科学の専門家からフェイス・トゥ・フェイスで助言を受けることになります。

■ お申し込み方法

お申し込みの詳細は、<http://www.ism.ac.jp/shikoin/startup.html>も併せてご覧ください。
ホームページに掲載されている指定書式にご記入の上、下記の電子メールアドレス宛てに添付メールにて、もしくはFAXか郵送にてお送りください。

電子メールアドレス	startup@ism.ac.jp
ファックス	042-526-4347
郵送先	〒190-8562 東京都立川市緑町10-3 統計数理研究所 統計思考院 共同研究スタートアップ係

※ 本プログラムの利用に際しては、予め所定の用紙に相談内容を記載していただきた上で、担当者と時間調整の上アポイントを取っていただき、統計数理研究所までご来所いただくことが条件となります。

※ ファイルの利用が困難な方は以下の1～10の項目をご記入の上、上記宛て先にお送りください。

1. 氏名（ふりがな）
2. 所属機関
3. 所属機関種類
4. 連絡先住所
5. 電話番号
6. ファックス番号
7. メールアドレス
8. 現在行っている業務または研究内容
9. 相談内容
10. どこで何でこのプログラムを知ったか

■ お申し込みの際の注意事項

- ◎ 問題のご説明に必要であれば、研究課題で使用しているデータをお申し込み時にメール添付でお送りいただいても結構ですが、それが非常に秘匿性の高いものである場合は、メールでのご送付はご遠慮ください。
- ◎ 共同研究課題として結実するか否かに関わらず、お話を伺ってご助言申し上げた事柄に関しては、当研究所発行の年報に「統計教育・指導援助等」の項目で相談者名・所属・相談内容(一行程度)、相談実施日が掲載されますので、予めご了承ください。年報はWeb上でもPDF版を公開しております。
※ 公開に支障のあるような秘匿性の高い研究課題のお持ち込みは、本プログラムの趣旨に馴染みません。

共同研究スタートアップから共同研究へ発展した例

様々な研究分野と統計学の架け橋として。

ケース1 公的機関の相談から共同研究へ

財団法人金融情報システムセンター（FISC）調査部より持ち込まれた課題「市場リスクに関する自己資本規制ガイドライン作成のための統計的方法」に対して、実データをもちいて解析を行った結果が、大蔵省（現金融庁）の実際の検査・監督に生かされています。



ケース2 日常に隠れた数理の芽

大手通信社から相談を受けたプロ野球のマジックナンバーの計算に関して、ロバスト最適化という考え方を使って共同研究を進めることになり、その成果として、CSクリンチナンバー（CSクリンチ）と名づけられた新しい指標が2010年のシーズンから新聞社やテレビ局に配信されるようになりました。



ケース3 英語化内辞書データの統計的解析

外国語学習を専門に研究されている大学教員からの相談をきっかけに、ネイティブスピーカーと日本人の心内辞書の違いを解析するという課題に共同研究で取り組み、外国语学習法の改良に繋がるような成果とともに、統計学的にも有意義な結果が得られ、共著論文や国内外の学会で発表されました。



School of Statistical Thinking

新しい統計学の創成を目指す研究者や学生、
固有分野の研究で統計学の必要性を感じた人などのさまざまな人が集い、
切磋琢磨しながら「統計思考」の鍛錬を行います。



交流のための
オープンスペース



会議スペース
(TV会議システム)



若手研究者のための個別スペース



統計思考力育成事業（外部向けプログラム）

統計思考力育成事業の一環として、所内のみならず、外部向けとして、下記のようなプログラムがあります。

それぞれのプログラムの詳細についてはホームページの統計思考力育成事業 (<http://www.ism.ac.jp/shikoin/overview.html>) からご覧下さい。



対象	プログラム名称及び概要
統計数理に興味を持つ一般の方	公開講演会 ●年1回(11月)
統計数理を学びたい方	公開講座 ●年10回程度／有料
大学生・大学院生の方	大学院連携制度 連携大学院において、統計数理に関する集中講義又は学生指導を行います。 特別共同利用研究員制度 他大学院学生の研究指導を行います。 夏期大学院 公開の講義を行います。 ●年1回(夏) 公募型人材育成事業 「統計思考力」に関係する研究集会等を公募します。 *公募対象は研究者の方です。
統計数理を必要とする研究者の方	統計数理セミナー 統数研の教員による統計数理の最新トピックのセミナーです。 ●毎週水曜日／予約不要
問題解決でお悩みの研究者の方	共同研究スタートアップ 統計数理に関わる問題について、統計専門家がその難易を見極め、解決に向けて助言を行います。
他機関若手研究者の方	研究者交流促進プログラム サバティカル制度等を利用して統数研で研究をする大学教員等に対する支援制度です。 *情報・システム研究機構のプログラムです。
統計教育関連	統計教員研修 理数系教員の指導力向上のための研修等を実施します。

統計数理研究所 統計思考院

※題字は北川 源四郎 元所長の書による

〒190-8562 東京都立川市緑町10-3 <http://www.ism.ac.jp/shikoin/>

◎立川バス 立川駅北口2番乗り場から「大山団地方面行」乗車

「立川学術プラザ下車」徒歩0分

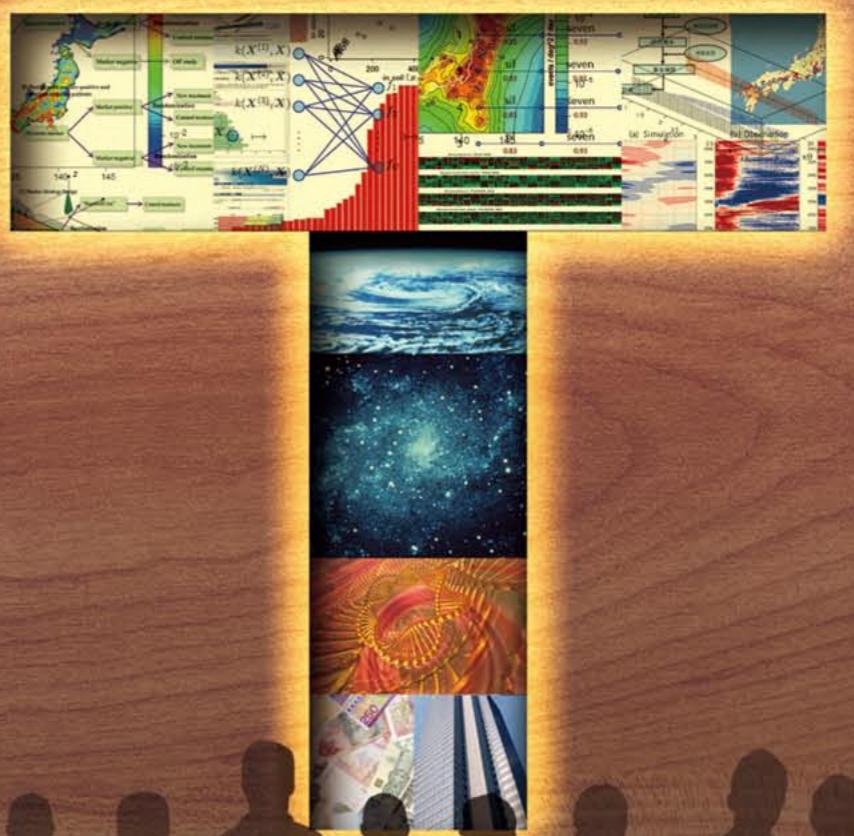
「裁判所前」または「立川市役所」下車 徒歩約5分

◎多摩モノレール 「高松駅」より徒歩約10分

◎JR中央線 「立川駅」北口より徒歩約25分



統計数理研究所 統計思考院



専門分野の深い知識（縦棒）と
統計分野における横断型の広い知識（横棒）を備えた
T型人材を育成